

CNニュース (皮膚・排泄ケア)

陰部の清潔ケアは、清拭？洗浄する？ 適切なケア方法を見極めよう！！

陰部の清潔ケアの方法について、陰部清拭用のペリケアが導入され、膀胱留置カテーテル挿入中の患者などの日々のケアに活用されていると思います。しかし、中には使用を控えた方がよい場合もあります。以前、肛門周囲に皮膚トラブルが出現した患者に、ペリケアを使用されていたことがありました。

今回のCNニュースでは、陰部洗浄の対象・方法について、一緒に考えていきましょう。

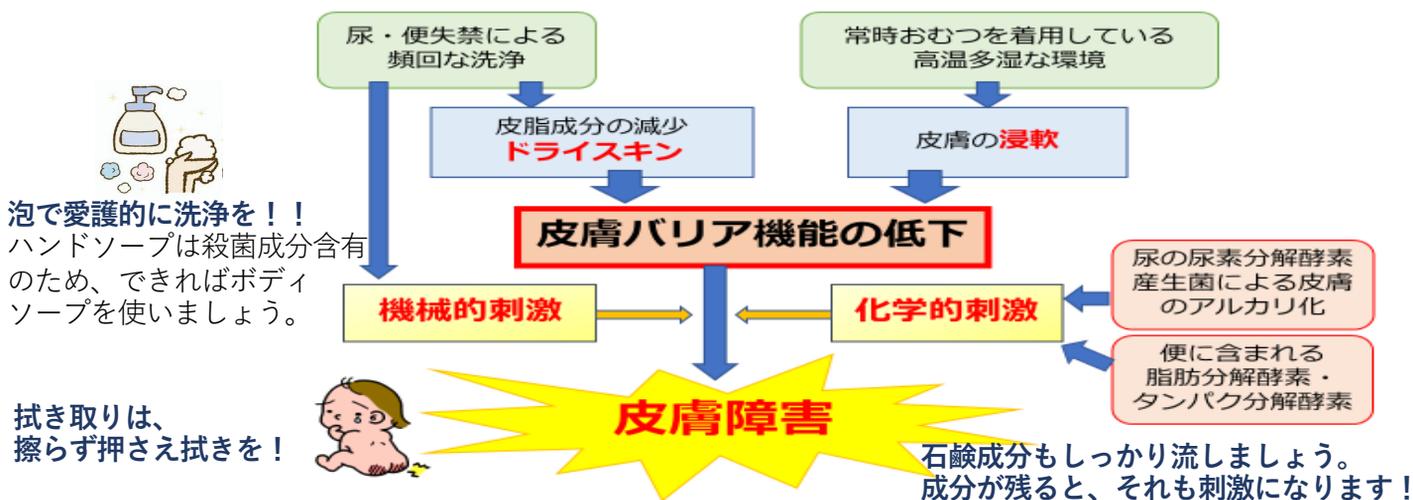


ペリケアの使用を控える対象は、

- * 下痢が頻回な患者
- * 皮膚保護を目的に予防的に亜鉛華軟膏等の軟膏を塗布している患者
- * 陰部に発赤など皮膚障害（失禁関連皮膚炎：IAD）が生じている患者 など

下痢などの頻回な清潔ケア時は
洗浄を！！

皮膚障害の発生機序



失禁による頻回な洗浄は皮脂を減少させドライスキンとなり、また長時間オムツ装着は皮膚を浸軟させ、皮膚バリア機能は破綻します。そこに頻回な拭き取りを行うと機械的刺激となり、皮膚障害の発生につながります。

失禁患者や脆弱な皮膚の患者にできる看護ケアは、保湿によるバリア機能の保持と、機械的刺激や化学的刺激を回避することです。

【ケアのポイント】

- * 早期から皮膚を保護する予防的ケア（保湿・撥水・被膜）を実施する
- * ペリケア使用時など拭き取りは、馴染ませてやさしく拭き取ったり、押さえ拭きをする
- * 便や帯下などで汚染が強い場合は、泡石鹼で洗いお湯を流して洗浄する
- * 亜鉛華軟膏使用患者は、除去時オリーブオイルを化粧のクレンジングのように馴染ませて、やさしく除去しその後洗浄する

PPEを適切に装着し感染予防をしながら、愛護的な陰部洗浄を行っていきましょう。
感染制御部から配布されているペリケア使用方法のDVDも確認してください。